

平成31年4月 5日

各区市町村
東京都公立学校情緒障害教育研究会
地区連絡係 様

東京都公立学校情緒障害教育研究会
会 長 小林 理人
(国立市立国立第二小学校長)

平成31年度 都情研 教室・学級実態調査の配布および回収のお願い

陽春の候となりました。貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度と同様に下記のように平成31年度学級実態調査を実施させていただきます。

各区市町村で配布・回収し、全設置校分をまとめてご提出いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、調査内容の集計は各ブロックの調査係が行いますので、集計の必要はありません。

校務多忙の折りとは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1、配布について

当該地区の全ての特別支援教室巡回拠点校・情緒障害等学級に配布してください。

新設の特別支援教室拠点校・情緒障害等学級にも配布してください。

2、回収について

各教室・学級の提出期限が4月23日(火)になっておりますので期限内に回収できるようよろしくお願いいたします。

3、提出方法・期限

すべて回収後、4月26日(金)までに各ブロック調査係へ都交換便もしくは郵送でご送付ください。

※内容についてご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

都情研本部調査係
大田区立志茂田小学校 特別支援教室 三村勝規 03-3732-8325

企画運営本部役員様
企画運営本部委員様
地区ブロック調査担当者様

平成31年3月19日
都情研企画運営本部調査係
立川市立第三中学校 中村章
大田区立志茂田小学校 三村勝規

都情研 調査係 実態調査の流れ

1, H30 年度調査内容・方法の決定について

1月15日（火）企画運営本部委員研修会	H31 年度調査方法の提案
2月19日（火）第3回 企画運営本部会・役員会	H31 年度調査内容・方法の決定
3月末	メーリングリストにて H31 年度調査内容の確認・決定

2, H31 年度調査内容・方法の説明と依頼

<3月末> 都情研本部調査係（大田区志茂田小三村） から H30 年度地区ブロック調査担当者 に調査の依頼

↓

<3月末～4月初め> H30 年度地区ブロック調査担当者 は、H31 年度地区ブロック調査担当者 に引継ぐ

↓

<4月初め> H31 年度地区ブロック調査担当者 は、H31 年度各区市町村地区連絡係 に調査の依頼、用紙を配布

↓

<4月15日（月）まで> H31 年度各区市町村地区連絡係 は、
各学級・教室（巡回拠点校） に調査の依頼、用紙を配布
(※4月16日（火）定期総会・地区ブロック本部会 H31 年度調査の呼びかけ)

↓

<4月23日（火）まで> 各学級・教室（巡回拠点校） は記載（5月1日時点の見込み）し、
各区市町村地区連絡係 に送付

↓

<4月26日（金）まで> 各区市町村地区連絡係 は、地区ブロック調査担当者 に送付

↓

<5月14日（火）まで> 地区ブロック調査担当者 は、集計してファイルに書き込み、
都情研本部調査係（大田区立志茂田小三村） にメール添付で送付
mimu@bk.ij4u.or.jp
回答用紙は、郵送で大田区立志茂田小学校三村に送付
144-0056 東京都大田区西六郷1丁目4番2号
Tel 03-3732-8325 Fax 03-3732-8326

平成31年4月10日

特別支援教室巡回拠点校・情緒障害等学級設置校
学校長様
教室・学級 担任様

東京都公立学校情緒障害教育研究会
会長 小林 理人
(国立市立国立第二小学校長)

平成31年度 都情研 教室・学級実態調査のお願い

陽春の候となりました。貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より情緒障害教育につきましては多大なご理解を賜り、お礼申し上げます。

さて、昨年度と同様に下記のように平成31年度教室・学級実態調査を実施させていただきます。

この調査は、東京都における情緒障害教育の実態を把握・分析して課題を明らかにし、今後の情緒障害教育の推進・発展に役立てる事を目的としています。

校務多忙の折りとは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1、調査方法

5月1日時点の見込みの内容でご回答ください。

特別支援教室巡回拠点校・情緒障害等学級担任の先生がご記入ください。

2、調査項目について

- A. 教室・学級経営に関する調査
- B. 児童生徒の実態に関する調査
- C. 卒業生の進路に関する調査

3、配布方法

ブロックの調査係が当該ブロックの地区連絡係に配布の依頼を行う。
地区連絡係が当該地区の全ての設置校に増刷して配布。

4、提出方法・期限

4月23日(火)までに地区連絡係に提出。期限厳守。

(地区連絡係は4月26日(金)までにブロックの調査係に提出)

各区市町村の地区連絡係に提出してください。

各区市町村の地区連絡係は、当該区市町村の設置校分をすべて回収し、
ブロックの調査係に提出してください。

・調査内容についての問い合わせ先

都情研本部調査係

大田区立志茂田小学校 特別支援教室 三村勝規 03-3732-8325

平成31年度 都情研 教室・学級実態調査回答用紙①

回答校 _____ 立 _____ 小・中 学校 _____ 学級 _____

記入者氏名(_____)

小学校のみ回答

a). 該当する番号に○ [~~1 通級~~ 2 固定級 3 巡回拠点]

中学校のみ回答

b). 該当する番号に○ [1 通級 2 固定級 3 巡回拠点]

※巡回指導を行っている場合は巡回拠点になります

b)-1. 該当する番号に○ 主として、[1.発達障害 2.不登校 3.両方]の
児童・生徒を対象とする学級

巡回拠点校は回答

a)-1. 拠点校として、自校を含め、何校を対象にしていますか。(_____ 校)

a)-2. 各学校の状況について、(下の表にご記入ください。)

	在籍児童数 (5月1日認可)	全校児童数	教室規模(普通教室の広 さを1教室として○で囲む)	教室使用状況	専門員
拠点校	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 A	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 B	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 C	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 D	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 E	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 F	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 G	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 H	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 I	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 J	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無
巡回校 K	名	名	1/3以下・1/2程度・1教室以上	専用 兼用	有(名), 無

平成31年度 都情研 教室・学級実態調査回答用紙②

※児童生徒数等については、5月1日現在の認可対象の人数となります。

各項目での合計人数(★1～★8)が一致しているようにしてください。

A. 教室・学級経営に関する調査

1 **固定級及び中学校のみ記入** 認可学級数(学級)

2 **固定級以外は記入**

該当する番号に○ (1. 通級のみ 2. 通級と巡回 3. 巡回のみ)

※ 他校児童を拠点校で指導する場合は、「通級」と考えてください。

3 **固定級以外は記入**

3-1 児童生徒の指導形態ごとの合計人数を記入してください

1. 個別指導(一対一の指導のみで、小集団指導は全くない)のみ (名)

2. 小集団指導(個別的配慮はしているが、一対一の指導は全くない)のみ(名)

3. 個別・小集団の両方(名)

合計 名★1

3-2 小集団指導についてお聞きします。

・小集団指導の規模は、1グループあたり大体(人)くらい。

・小集団場面での指導時間は、1名あたり大体(時間)くらい。

4 **固定級以外は記入** 週あたりの授業時数と巡回・通級日数

5月1日現在正式に認可されている児童生徒の人数を、時数・日数別にご記入ください。

	1h 未 満	週 1 時 間	週 2 時 間	週 3 時 間	週 4 時 間	週 5 時 間	週 6 時 間	週 7 時 間	週 8 時 間	週 9 時 間	週 10 時 間	週 11 時 間	週 12 時 間	合 計
児童生徒 の人数														名

★2

巡回・通級日数 (週)	週1日 未 満	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	合 計
児童生徒の人数							名

★3

5 **すべて記入**

教職員数 (1)専任教諭(名) (2)時間講師(名) 延時数(時間/週)

教 員	教員経験 年数通算	情緒障害学級+ 特別支援教室の 経験年数	平均的な指導時数/週	保護者面談・在籍学級観察・在籍担 任との打ち合わせ・移動・指導教室準 備の時数/週
			(1単位時間45分、中学は50分)	(1単位時間45分、中学は50分)
A	年	(年)	時間/週	時間/週
B	年	(年)	時間/週	時間/週
C	年	(年)	時間/週	時間/週
D	年	(年)	時間/週	時間/週
E	年	(年)	時間/週	時間/週
F	年	(年)	時間/週	時間/週
G	年	(年)	時間/週	時間/週
H	年	(年)	時間/週	時間/週
I	年	(年)	時間/週	時間/週
J	年	(年)	時間/週	時間/週

・5月1日現在で、月数は切り捨ててください。・新規採用は通算0年(0年)となります。

・例：通常学級3年+情緒障害等通級指導学級3年+特別支援教室2年の場合は通算8年(5年)

平成31年度 都情研 教室・学級実態調査回答用紙③

B. 児童生徒の実態に関する調査

6児童・生徒数について

(1) 該当種別に記入 今年度の認可人数

a) 通級

校内通級	名	他校からの通級	名	合計	名
------	---	---------	---	----	---

★4

b) 固定級

合計	名
----	---

★4

c) 特別支援教室

在籍校の特別支援教室を利用	名	拠点校に通って特別支援教室を利用	名	合計	名
---------------	---	------------------	---	----	---

★4

(2) すべて記入 前年度中の児童・生徒数の変化

30年度	H30年5月1日	H31年3月31日
	名	名

7 児童・生徒数の実態について

(1) すべて記入 男女・学年別児童、生徒数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計
固定級	男子							名
	女子							名
教室 ・ 通級	男子							名
	女子							名
学年別 小計		名	名	名	名	名	名	名

★5

(2) 中学校のみ記入 小学生時代の支援の内訳

小学在籍時の 利用の状況	通常級のみ	特別支援教室 ・通級利用	情緒障害 固定級在籍	知的障害 固定級在籍	小計
生徒数	名	名	名	名	名

★6

中学のみ

(3) すべて記入 発達検査(WISC、K-ABC、田中ビネー等)資料の有無

児童生徒数	名	在籍のうちで資料のある人数	名
-------	---	---------------	---

★7

平成31年度 都情研 教室・学級実態調査回答用紙④

(4) **すべて記入** 主障害別児童生徒数 (重複はしないでください)

不登校状態ではない			不登校状態にある (前年度欠席30日以上)			小計
障害種別	人数	知的発達遅れ	障害種別	人数	知的発達遅れ	
自閉症	名	なし 名	自閉症	名	なし 名	名
		あり 名			あり 名	
ADHD	名		ADHD	名		名
情緒不安定	名	なし 名	情緒不安定	名	なし 名	名
		あり 名			あり 名	
LD	名		LD	名		名
選択性緘黙	名		選択性緘黙	名		名
知的障害	名		知的障害	名		名
その他 ()	名		その他 ()	名		名
その他 ()	名		その他 ()	名		名
小計	名		小計	名		名

★8

記入上の留意点

都情研調査係による、児童生徒の理解および適切な指導や教育環境、研修体制の充実を図るための教育的分類です。判断は指導にあたる担任の先生が行ってください。診断の有無は問いません。
※重複はしないでください。重なる部分もあると思いますが、現在学級で指導の重点を置いている方で分類してください。

※「知的発達の遅れなし」の基準は、おおむね学年相当の教科学習に参加できる程度とします。

- ★「自閉症」・・・「自閉症」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉症、広汎性発達障害(PDD)を含む。自閉症スペクトラム障害という概念で一括します。
- ★「情緒不安定」・・・「情緒不安定」とは、心因性の行動障害や不安障害が考えられる状態です。
- ★「選択性かん黙」(場面かん黙) ★「その他」・・・具体的な診断名をお書きください。

C. 卒業生の進路に関する調査

8 前年度在籍していた卒業生の進路について

小学校のみ記入 前年度卒業生()名

通常の学級のみ	名	特別支援学校	名
通常学級+教室又は通級	名	私立中学	名
知的障害固定級	名	その他()	名
情緒障害固定級	名	()	名

中学校のみ記入 前年度卒業生()名

全日制高校	公立	名	通信制高校	公立	名	家業手伝い	名
	私立	名		私立	名		
定時制高校	公立	名	通信制提携校(専修学校)		名	その他	名
	私立	名	通信制提携校(サポート校)		名		
単位制高校	公立	名	特別支援学校		名	()	名
	私立	名	就職、アルバイト		名		